

◆入江良郎

CURATOR'S CHOICE/上映作品解説37「新雪」『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

《若き日》の小津と清水—資料でみる空想のシネマテーク『NFCニューズレター』第52号(2003年12月-2004年1月号)

京都文化博物館で「映像フェスタ」開催『NFCニューズレター』第53号(2004年2-3月号)

◆大場正敏

第59回国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)年次会議への出席(2003年6月1日-7日)

◆岡島尚志

第59回国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)年次会議への出席(2003年6月1日-7日)

FIAFストックホルム/ヘルシンキ会議報告 フィルムをフィルムとして残すことの意義『NFCニューズレター』第50号(2003年8-9月号)

スウェーデンの映画保存(上)『NFCニューズレター』第53号(2004年2-3月号)

◆岡田秀則

CURATOR'S CHOICE/上映作品解説38「愛の道標」『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

韓国で行われた「日本映画黄金期:1950年代の巨匠15人展」報告『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

市川崑監督に聞く「あの頃、映画にならない題材はないと考えていました」(聞き手/構成)『NFCニューズレター』第50号(2003年8-9月号)

ようやく泳ぎ着いた《未知の映画大国》『NFCニューズレター』第51号(2003年10-11月号)

◆常石史子

第59回国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)年次会議への出席(2003年6月1日-7日)

「発掘」の諸相一切られ、つなかれ『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

「斬人斬馬剣」—そのデジタル復元『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

『和製喧嘩友達』のデジタル復元『NFCニューズレター』第52号(2003年12月-2004年1月号)

◆榎本章

CURATOR'S CHOICE/上映作品解説39 満映前夜の満州国映画『NFCニューズレター』第49号(2003年6-7月号)

CURATOR'S CHOICE/上映作品解説40「宿命」「告白」『NFCニューズレター』第51号(2003年10-11月号)